

弊社取り扱いの フロンサイド SC は製品規格により  
SDS が異なりますのでご注意願います。

○農林水産省登録 第 22631 号

ホクサンフロンサイド SC … 1ℓ、5ℓ 規格

SDS は本紙 2 枚目～ 8 枚目

○農林水産省登録 第 18750 号

石原フロンサイド SC … 500 ml 規格

SDS は本紙 9 枚目～ 15 枚目

よろしくお願ひ致します。



# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	ホクサンフロンサイド SC
供給者の会社名称	:	ホクサン株式会社
住所	:	〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4
担当部門	:	農業科学研究所
電話番号	:	011-370-2103
FAX 番号	:	011-370-2070
緊急連絡先	:	営業部 業務課
電話番号	:	011-370-2333
e-mail	:	gyoumuka@hokusan-kk.jp
推奨用途	:	農薬
使用上の制限	:	農薬登録以外の使用不可
整理番号	:	22631-3

## 2. 危険有害性の要約

### 【化学品の GHS 分類】

物理化学的危険性	:	爆発物	分類できない	
		可燃性ガス	区分に該当しない	
		エアゾール	区分に該当しない	
		酸化性ガス	区分に該当しない	
		高压ガス	区分に該当しない	
		引火性液体	区分に該当しない	
		可燃性固体	区分に該当しない	
		自己反応性化学品	分類できない	
		自然発火性液体	区分に該当しない	
		自然発火性固体	区分に該当しない	
		自己発熱性化学品	分類できない	
		水反応可燃性化学品	区分に該当しない	
		酸化性液体	分類できない	
		酸化性固体	区分に該当しない	
		有機過酸化物	区分に該当しない	
		金属腐食性物質	分類できない	
		鈍性化爆発物	分類できない	
	健康有害性	:	急性毒性（経口）	区分に該当しない
			急性毒性（経皮）	区分に該当しない
			急性毒性（吸入：ガス）	区分に該当しない
		急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない	
		急性毒性（吸入：粉じん）	区分に該当しない	
		急性毒性（吸入：ミスト）	分類できない	
		皮膚腐食性／刺激性	区分 3	
		眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分に該当しない	
		呼吸器感作性	分類できない	
		皮膚感作性	区分 1	
		生殖細胞変異原性	分類できない	



	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない
	特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分2（肝臓、消化管）
	誤えん有害性	分類できない
環境有害性	水生環境有害性 短期（急性）	区分1
	水生環境有害性 長期（慢性）	区分1
	オゾン層への有害性	分類できない

【GHS ラベル要素】

絵表示又はシンボル :



注意喚起語	:	危険/警告
危険有害性情報	:	軽度の皮膚刺激 (H316) アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ (H317) 長期にわたる、又は反復ばく露による肝臓または消化管の障害のおそれ(H373) 水生生物に非常に強い毒性(H400) 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性(H410)
注意書き	安全対策	:
		安全対策については、「7. 取り扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。 子供の手の届かないところに置くこと。(P102) 使用前にラベルをよく読むこと。(P103) 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。(P272) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280) ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 環境への放出を避けること。(P273)
	応急措置	:
		応急措置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。(P302+P352) 皮膚刺激または発疹が生じた場合：医師の診察/手当てを受けること。(P333+P313) 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。(P362+P364) 気分が悪い時は、医師の診察/手当てを受けること(P314) 漏出物を回収すること。(P391)
	保管（貯蔵）	:
	廃棄	:
		保管については、「7. 取り扱い及び保管上の注意」を参照。 廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。(P501)

【その他の危険有害性】

特になし



**3. 組成及び成分情報**

化学物質・混合物の区別 : 混合物  
 農薬の種類名 : フルアジナム水和剤

一般名	フルアジナム	水・界面活性剤等	
化学名	3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)- $\alpha$ , $\alpha$ , $\alpha$ -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-p-トルイジン	プロパン-1,2-ジオール	—
含有率	39.5%	8.0%	52.5%
官報公示整理番号			
化審法	農薬取締法に規制される物質	2-234	全成分登録保証
安衛法	8-(1)-1816	2-(8)-321, 2-(8)-323	全成分登録保証
CAS 番号	79622-59-6	57-55-6	ノウハウのため非公開

**4. 応急措置**

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹼で洗うこと。  
 皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。  
 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。  
 眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
 飲み込んだ場合 : 水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。  
 最も重要な兆候及び症状 : データなし  
 医師に対する特別な注意事項 : データなし

**5. 火災時の措置**

適切な消火剤 : 水、粉末、炭酸ガス、泡消火剤  
 使ってはならない消火剤 : データなし  
 火災時の特有の危険有害性 : 燃焼時、有毒ガス (HCl、HF、NOx 等) が発生する。  
 特有の消火方法 : 小さな火災の場合は、水・粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行う。  
 大規模火災の場合は、水、泡消火剤等を用いて空気を遮断する。  
 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行ない有害ガスの吸入を避ける。



**6. 漏出時の措置**

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
- ： 適切な保護具を着用する。多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。
- 環境に対する注意事項
- ： 環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
- ： 少量の場合は、土砂、ウエス等に吸着させて回収する。
  - ： 大量の場合は、流出を土嚢等により止め、周囲にロープ等を張って火気を遠ざけると共に関係者以外は立入禁止として保護具を着用して回収する。
- 二次災害の防止策
- ： 漏出物を回収すること。安全に対処できるならば漏洩を止めること。

**7. 取扱い及び保管上の注意**

- 取扱い
- 技術的対策
- ： ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
  - ： 皮膚、粘膜又は、着衣に触れたり眼に入らないようにすること。
- 安全取扱い注意事項
- ： 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 接触回避
- ： データなし
- 衛生対策
- ： 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 保管
- 安全な保管条件
- ： 密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない涼しい場所で保管すること。
- 安全な容器包装材料
- ： データなし

**8. ばく露防止及び保護措置**

- 管理濃度
- ： 設定されていない
- 許容濃度
- ： 設定されていない
- 設備対策
- ： 局所排気装置
- 保護具
- 呼吸器用保護具
  - ： 有機ガス用マスク・送気マスク・空気呼吸器
  - 手の保護具
  - ： ゴム手袋・ビニール手袋
  - 眼、顔面の保護具
  - ： ゴーグル
  - 皮膚及び身体の保護具
  - ： 保護服

**9. 物理的及び化学的性質**

- 物理状態
- ： 粘稠懸濁液体<sup>1)</sup>
- 色
- ： 淡黄色<sup>1)</sup>
- 臭い
- ： 僅かに特異な臭い<sup>1)</sup>
- 融点/凝固点
- ： データなし（フルアジナム：117℃）<sup>1)</sup>
- 沸点又は初留点及び沸点範囲
- ： データなし
- 可燃性
- ： データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界
- ： データなし
- 引火点
- ： 引火しない



自然発火点	:	自然発火しない
分解温度	:	データなし
pH (20%水溶液)	:	6.0(20°C) <sup>1)</sup>
動粘性率	:	データなし
溶解度	:	水に懸濁分散 (フルアジナムの水溶解度：0.157mg/L, pH7, 20°C) <sup>1)</sup>
n-オクタノール/水分配係数	:	データなし (フルアジナム：4.03/25°C) <sup>1)</sup>
蒸気圧	:	データなし
密度及び/又は相対密度	:	1.25~1.27(20°C) <sup>1)</sup>
相対ガス密度	:	データなし
粒子特性	:	データなし

### 10. 安定性及び反応性

反応性	:	データなし フルアジナムはニトロ基を有するが、危険物第5類判定試験で第5類に該当せず。
化学的安定性	:	通常の取扱い条件下では安定 (フルアジナムは水中での易分解性なし)
危険有害反応可能性	:	データなし
避けるべき条件	:	データなし
混触危険物質	:	データなし
危険有害な分解生成物	:	燃焼により、HCl、HF、NOx が生成する。

### 11. 有害性情報

急性毒性	:	経口 LD <sub>50</sub> >5000mg/kg (ラット♂♀) <sup>1)</sup> 経皮 LD <sub>50</sub> >2000mg/kg (ラット♂♀) <sup>1)</sup> 吸入 LC <sub>50</sub> >2.17mg/kg (ラット♂♀) <sup>1)</sup>
皮膚腐食性/刺激性	:	中程度の刺激性あり (ウサギ)、0.1%希釈液は刺激性なし。 <sup>1)</sup>
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	:	中程度の刺激性あり (ウサギ、洗眼効果あり)、0.1%希釈液は刺激性なし。 <sup>1)</sup>
呼吸器感作性	:	データなし
皮膚感作性	:	フルアジナムは感作性あり <sup>1)</sup>
生殖細胞変異原性	:	データなし (フルアジナムは変異原性なし)
発がん性	:	データなし (フルアジナムは発がん性なし)
生殖毒性	:	データなし (フルアジナムは生殖毒性なし)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	フルアジナム (区分2：肝臓、消化管) を 39.5%含有することから、区分2 (肝臓、消化管) とした。
誤えん有害性	:	データなし

### 12. 環境影響情報

生態毒性	:	水生環境有害性 短期 (急性)
		コイ LC <sub>50</sub> (96 時間) 0.290mg/L <sup>1)</sup>
		ニジマス LC <sub>50</sub> (96 時間) 0.141mg/L <sup>1)</sup>
		オオミジンコ EC <sub>50</sub> (48 時間) 0.178mg/L <sup>1)</sup>
		藻類 E <sub>50</sub> (72 時間) 1.4mg/L <sup>1)</sup>
	:	水生環境有害性 長期 (慢性) 慢性区分1のフルアジナム原体を 39.5%含むことから、区分1とした。





## 16. その他の情報

- 記載内容の問合せ先 : ホクサン株式会社 営業部 業務課  
〒061-1111 北海道北広島市北の里 27 番地 4 TEL 011-370-2333
- 引用文献 : 1) 石原産業(株) 安全データシート (石原フロンサイド SC) 2024年3月14日⑬改訂
- 免責条項 : 記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものであって、特別な取扱いをする場合は用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。





## 1 化学品及び会社情報

- 1.1 製品名: 石原フロンサイド SC (フルアジナム水和剤)
- 1.2 用途: 殺菌剤
- 1.3 会社情報: 会社名 石原産業株式会社  
住所 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号  
担当部門 バイオサイエンス事業本部 開発マーケティング部  
電話:06-6444-7154 FAX:06-6444-7156
- 1.4 緊急連絡先: 会社名 石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部  
電話:06-6444-7152
- 1.5 作成日: 1995年10月19日  
改訂日: 2024年3月14日<sup>⑬</sup>

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ先: 石原テレホン相談室 0120-1480-57(フリーダイヤル)

## 2 危険有害性の要約

### 2.1 化学品の GHS 分類

#### 物理化学的危険性:

爆発物	分類できない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	区分に該当しない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	区分に該当しない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性物質	分類できない
鈍性化爆発物	分類できない

#### 健康に対する有害性:

急性毒性(経口)	区分に該当しない
急性毒性(経皮)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分に該当しない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	区分1

# 安全データシート

生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2(肝臓、消化管)
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性:	
水生環境有害性 短期(急性)	区分1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分1
オゾン層有害性	分類できない

## 2.2 GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:	危険/警告
危険有害性情報:	H316 軽度の皮膚刺激
	H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
	H373 長期にわたる、または反復ばく露による肝臓または消化管の障害のおそれ
	H400 水生生物に非常に強い毒性
	H410 長期継続的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】	安全対策については、「7. 取扱い及び保管上の注意」、「8. ばく露防止及び保管措置」を参照。
	P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P280 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P260 ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
	P273 環境への放出を避けること。
【応急措置】	応急処置については、「4. 応急措置」、「5. 火災時の措置」を参照。
	P302+P352 皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗うこと。
	P333+P313 皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診察/手当を受けること。
	P362+P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
	P314 気分が悪い時は、医師の診察/手当を受けること。
	P391 漏出物を回収すること。
【保管】	保管については、「7. 取扱い及び保管上の注意」を参照。
【廃棄】	廃棄については、「13. 廃棄上の注意」を参照。
	P501 内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

2.3 その他の危険有害性: 特になし

## 3 組成及び成分情報

3.1 化学物質・混合物の区別: 混合物

3.2 成分:

一般名	フルアジナム	水、界面活性剤等	
化学名	3-クロロ-N-(3-クロロ-5-トリフルオロメチル-2-ピリジル)- $\alpha, \alpha, \alpha$ -トリフルオロ-2,6-ジニトロ-p-トルイジン	プロパン-1, 2-ジオール	—
含有率	39.5%	80%	52.5%
官報公示整理番号 化審法	農薬取締法に規制される物質	2-234	全成分登録 保証
官報公示整理番号 安衛法	8-(1)-1816	2-(8)-321, 2-(8)-323	全成分登録 保証
CAS No.	79622-59-6	57-55-6	ノウハウのため非公開

#### 4 応急措置

##### 4.1 応急措置の記載

- 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- 皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹸で洗うこと。  
皮膚刺激または発疹が生じた場合、医師の診察/手当を受けること。  
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
- 吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪い時は医師に連絡すること。
- 飲み込んだ場合: 水でよく口の中を洗浄すること。気分が悪い時は医師に連絡すること。

##### 4.2 最も重要な兆候及び症状:

データなし

##### 4.3 医師に対する特別な注意事項:

データなし

#### 5 火災時の措置

##### 5.1 適切な消火剤:

水、粉末、炭酸ガス、泡消火剤

##### 5.2 使ってはならない消火剤:

データなし

##### 5.3 特有の危険有害性:

燃焼時、有毒ガス(HCl、HF、NO<sub>x</sub>等)が発生する。

##### 5.4 特有の消火方法:

小さな火災の場合は、水・粉末・炭酸ガス・泡消火器で消火を行い、消火活動は風上より行う。

大規模火災の場合は、水、泡消火剤等を用いて空気を遮断する。

##### 5.5 消火を行う者の保護具及び予防措置:

消火作業は、必ず保護具を着用し、風上より行かない有害ガスの吸入を避ける。

#### 6 漏出時の措置

##### 6.1 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置:

適切な保護具を着用する。

多量の場合は人を退避させ、周囲にロープを張り、関係者以外を立入禁止にする。

##### 6.2 環境に対する注意事項:

環境への放出を避ける。公共の水路・水源等に流出したときは、警察・水質関係官庁に知らせる。

##### 6.3 封じ込め及び浄化の方法及び機材:

少量の場合は、土砂、ウエス等に吸着させて回収する。

大量の場合は、流出を土嚢等により止め、周辺にロープ等を張って



- 6.4 二次災害の防止措置: 火気を遠ざけると共に関係者以外は立入禁止として保護具を着用して回収する。  
漏出物を回収すること。  
安全に対処できるならば漏洩を止めること。

## 7 取扱い及び保管上の注意

- 7.1 取扱い:  
技術的対策: ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
皮膚、粘膜又は、着衣に触れたり眼に入らないようにすること。  
安全取扱い注意事項: 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
接触回避: データなし  
衛生対策: 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- 7.2 保管:  
安全な保管条件: 密封容器に入れ、火気を避け、直射日光の当たらない涼しい場所で保管すること。  
安全な容器包装材料: データなし

## 8 ばく露防止及び保護措置

- 8.1 許容濃度等:  
管理濃度: 設定されていない  
許容濃度: 設定されていない
- 8.2 設備対策: 局所排気装置
- 8.3 保護具:  
呼吸用保護具: 有機ガス用マスク・送気マスク・空気呼吸器  
手の保護具: ゴム手袋・ビニール手袋  
目、顔面の保護具: ゴーグル  
皮膚及び身体の保護具: 保護服

## 9 物理的及び化学的性質

- 9.1 物理状態: 粘稠懸濁液体  
9.2 色: 淡黄色  
9.3 臭い: 僅かに特異な臭い  
9.4 融点/凝固点: データなし(フルアジナム:117 °C)  
9.5 沸点又は初留点及び沸騰範囲: データなし  
9.6 可燃性: データなし  
9.7 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界: データなし  
9.8 引火点: 引火しない  
9.9 自然発火点: 自然発火しない  
9.10 分解温度: データなし  
9.11 pH (20%水溶液): 6.0 (20 °C)  
9.12 動粘性率: データなし  
9.13 溶解度: 水に懸濁分散(フルアジナムの水溶解度:0.157 mg/L、pH7、20 °C)  
9.14 n-オクタノール/水分配係数: データなし(フルアジナム:4.03/25 °C)  
9.15 蒸気圧: データなし



## 安全データシート

9.16	密度及び/又は相対密度:	1.25~1.27(20 °C)
9.17	相対ガス密度:	データなし
9.18	粒子特性:	データなし

**10 安定性及び反応性**

10.1	反応性:	データなし フルアジナムはニトロ基を有するが、危険物第5類判定試験で第5類に該当せず。
10.2	化学的安定性:	通常の条件下で安定(フルアジナムは水中での易分解性なし)
10.3	危険有害反応可能性:	データなし
10.4	避けるべき条件:	データなし
10.5	混触危険物質:	データなし
10.6	危険有害な分解生成物:	燃焼により、HCl、HF、NO <sub>x</sub> が生成する。

**11 有害性情報**

11.1	急性毒性:	経口 LD <sub>50</sub> >5000 mg/kg (ラット♂、♀) 経皮 LD <sub>50</sub> >2000 mg/kg (ラット♂、♀) 吸入 LC <sub>50</sub> >2.17 mg/kg (ラット♂、♀)
11.2	皮膚腐食性/刺激性:	中程度の刺激性あり(ウサギ)、0.1%希釈液は刺激性なし。
11.3	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:	中程度の刺激性あり(ウサギ、洗眼効果あり)、0.1%希釈液は刺激性なし。
11.4	呼吸器感作性又は皮膚感作性:	皮膚感作性:フルアジナムは感作性あり 呼吸器感作性:データなし
11.5	生殖細胞変異原性:	データなし(フルアジナムは変異原性なし)
11.6	発がん性:	データなし(フルアジナムは発がん性なし)
11.7	生殖毒性:	データなし(フルアジナムは生殖毒性なし)
11.8	特定標的臓器毒性(単回ばく露):	データなし
11.9	特定標的臓器毒性(反復ばく露):	フルアジナム(区分2:肝臓、消化管)を39.5%含有することから、区分2(肝臓、消化管)とした。
11.10	誤えん有害性:	データなし

**12 環境影響情報**

12.1	生態毒性:	水生環境有害性 短期(急性) コイ LC <sub>50</sub> 0.290 mg/L(96時間) ニジマス LC <sub>50</sub> 0.141 mg/L(96時間) オオミジンコ EC <sub>50</sub> 0.178 mg/L(48時間) 藻類 EbC <sub>50</sub> 1.4 mg/L(72時間) 水生環境有害性 長期(慢性) フルアジナム原体 ファットヘッドミノー(魚類) NOEC 0.0053 mg/L 藻類 NOECr 0.048 mg/L(72時間) 慢性区分1のフルアジナム原体を39.5%含むことから、区分1とした。
12.2	残留性・分解性:	データなし(フルアジナムは水中での易分解性なし)
12.3	生体蓄積性:	データなし(フルアジナム:BCF 1018)
12.4	土壤中の移動性:	データなし



12.5 オゾン層への有害性: データなし

### 13 廃棄上の注意

内容物/容器を国/都道府県/市町村等の法・条例に従って適切に廃棄すること。

13.1 内容物の廃棄: 焼却時、有害ガス(HCl、HF、NOx)が発生するので、アルカリ吸収設備の備わった場所で法・条例に従って安全に処理する。

13.2 容器の廃棄: 内容物を使い切った後、適切に処理する。

### 14 輸送上の注意

14.1 国連番号: 3082

品名: Environmentally hazardous substance, Liquid, n.o.s.(フルアジナム)

国連分類: 9

容器等級: III

14.2 海洋汚染物質: 該当

14.3 MARPOL73/78 附属書II及び

IBCコードによるばら積み輸

送される液体物質:

14.4 輸送又は輸送手段に関する 定められた密閉の袋に入れ、運搬に際しては、箱の落下損傷がないよ  
特別の安全対策: う積み込み荷崩れの防止と水漏れや乱暴な取扱を避ける。

14.5 国内規制がある場合の規制 陸上規制情報: 該当しない

情報: 航空規制情報: 航空法の規制に従う

海上規制情報: 船舶安全法の規制に従う

14.6 応急措置指針番号: 171

### 15 適用法令

農薬取締法: 農薬登録番号 第18750号

毒物及び劇物取締法: 該当しない

消防法: 該当しない

労働安全衛生法: 第57条(表示対象物質)

フルアジナム(令和6年4月1日以降)

プロパン-1, 2-ジオール(令和7年4月1日以降)

第57条の2(通知対象物質)

フルアジナム(令和6年4月1日以降)

プロパン-1, 2-ジオール(令和7年4月1日以降)

化審法: 該当しない

化管法: 第1種指定化学物質 フルアジナム(管理番号: 95) 39.5% (代表分析  
値)

第2種指定化学物質 該当しない



製品名: 石原フロンサイド SC (フルアジナム水和剤)

SDS No. A-1075

## 安全データシート

作成日 1995年10月19日

改訂日 2024年3月14日<sup>⑬</sup>

### 16. その他の情報

本製品(農薬)の使用に関するお問合せ

石原テレホン相談室

0120-1480-57(フリーダイヤル)

※石原バイオサイエンス(株)の全国の支店のうち、最寄りの事業地につながります。

公益財団法人 日本中毒情報センター (事故に伴い急性中毒の恐れがある場合に限る)

中毒110番 一般市民専用電話

(大阪)

072-727-2499(情報料無料)

365日24時間対応

(つくば)

029-852-9999(情報料無料)

365日24時間対応

中毒110番 医療機関専用有料電話

(大阪)

072-726-9923(1件2000円)

365日24時間対応

(つくば)

029-851-9999(1件2000円)

365日24時間対応

医療機関の方が一般市民専用電話を使用した場合、情報提供料は有料(1件につき2,000円)となります。

この安全データシート(SDS)は、JIS Z7253に基づいて作成しています。

#### 作成部門

石原産業株式会社 バイオサイエンス事業本部 生産技術部

電話:06-6444-7152

#### SDS承認部門

三重県四日市市石原町1番地

石原産業株式会社 環境安全衛生統括グループ

電話:059-345-6205

FAX:059-345-6206

#### 記載内容の取扱い

本 SDS の記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであり、特別な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

記載内容は情報提供であり、保証されるものではありません。